



寺崎支部

芝間市社会福祉協議会

「しんこう会」だより

第6号



平成27年度 秋の地域交流・防災体験

今年の研修は参加者が集まらず苦勞したが、皆さんの協力で37人ほどになり何とかまとまりました。

晴天に恵まれた11月11日社協笠間支所を出発し、一路宇都宮へと向かい10時頃カルビー清原工場に到着しました。工場内では「カルビー」社が造る製品の種類、その製品の出来る過程、国内における工場の配置などの説明をスライド等で受け（多分にコマースヤル的な感否めませんが）工場内を案内していただき、実際に「カツパえびせん」のできる工程を視察しました。

その後いろいろな商品を試食し、袋詰めの土産を買いました。この土産こそ筆者が「カルビー」社を選んだ最大の理由で、売り上げ全部を東日本大震災で両親または片親を亡くした子で、大学入学を希望する子の希望をかなえる資金の一部になると聞いていたからです。いくらが高いかなとも思いましたが皆さん、こぞって求めておりました。工場内が撮影禁止なので写真が無いのが残念です。2時間ほどで視察を終え工場後にしました。

宇都宮餃子館で餃子尽くしの昼食をとり栃木県防災館へ向かいました。

防災館ではスライドなどで、火災やいろいろな災害発生のメカニズムや防災対策等を学び、公の場で煙に巻き込まれた時の対処の仕方、大雨や防風・地震など各自それぞれに希望する体験をしました。家の防災対策をもう一度見直す良いきっかけになりました。一部の方から「今回は堅苦しい所を選びましたね」と言われ、又ある人からは非常に良い体験になり、ぜひこれからもこのような機会を設けてほしい、とも言われました。

カルビー清原工場と云い栃木県防災館と云い良い体験をした一日でした。

一生懸命参加者集めをして下さった、各区長さん大変お世話になりました。

又バスを出してくださった市社協、富施笠間支所長、ドライバーの堤さんお陰で楽しい地域交流ができ、有難うございました。



陶芸教室

陶芸教室を2月21日（日）に14名の参加者で大津晃窯さんで行いました。毎年参加者集めに苦勞するのですが、今回はそれなりの申し込みがあり大変スムーズに開催できましたことを感謝しています。

講師の方の丁寧な説明の後、それぞれ思い描いた作品に取り掛かりました。皿を作っている人、茶碗に挑戦する人、皆真剣に取り組み、あつという間に時間が過ぎました。最後に作品の後ろに作成日と名前、塗料の番号を入れ、終了いたしました。皆さん出来上がりが楽しみだと思えます。

弁当を配り、そこで広げる家族、持ち帰る人それぞれで解散になりました。

これだけの参加者があるなら、来年も開こうかと考えています。



編集後記

第5号でも記しましたがあまりにも遅くなってしまったため、毎回お願いしている公民館主事の田口さんや、女性学級長の小嶋さんに頼みづらくなり全部自分で書いてしまいました。来年度は楽をするためにも早く作ることにします。

寺崎支部 安藤